

池田町の財政を考える (第2回) 町の借金 (地方債・公債費)



町の借金は何のために

まず、池田町の毎年の借金(＝地方債・町債)について見てみましょう。

下の表のように、町の毎年の借金は2008年度までは少しずつ減ってきました。しかし、ここ10年ほどはまた増加の傾向に。

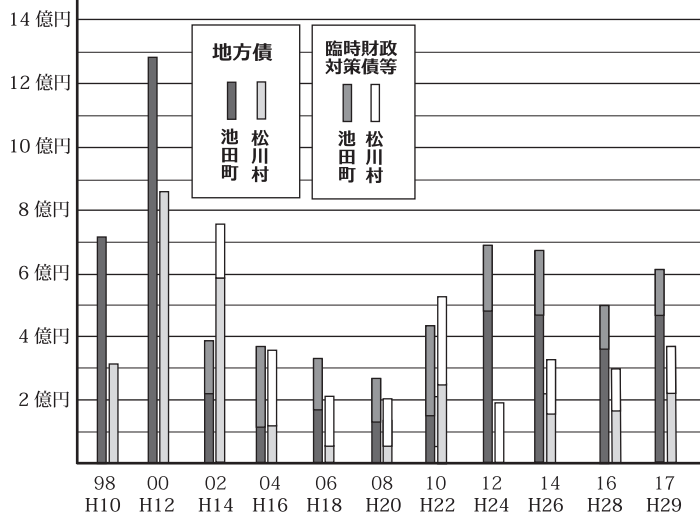
2014年度は社会福祉施設整備債として3億8千万円を含む町債を、2016年度には防災・減災事業債として1億9千万円を含む町債を発行。また、2017年度からは社会資本総合整備事業のための町債が含まれています。

借金返済は大丈夫なのか

次に、過去の借金の返済額(＝公債費)の推移を調べてみます。

松川村が節度ある借金をして、返済もそれほどはなっていないことは対照的です。

池田町・松川村の毎年の借金額 (地方債)



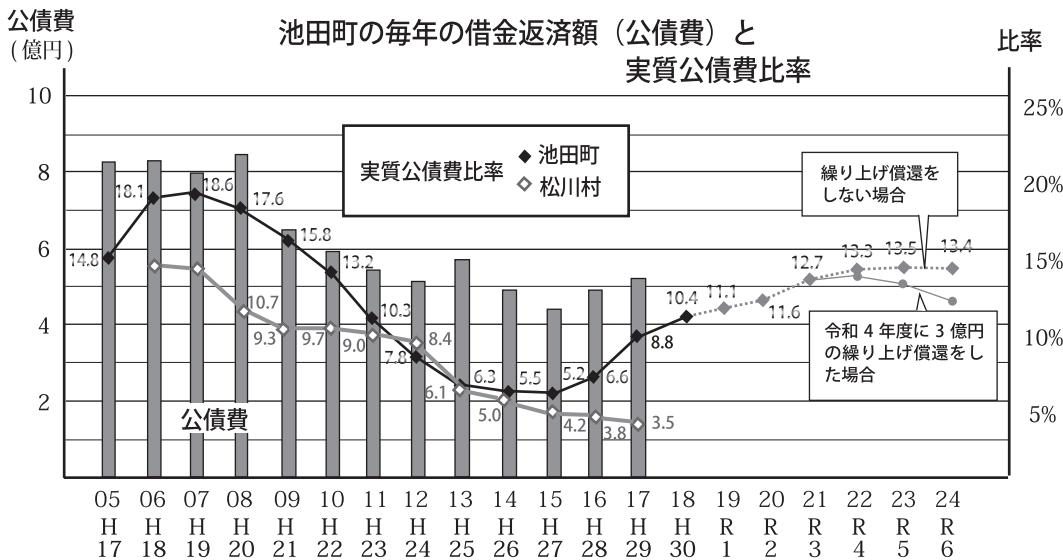
下の表の黒い柱がそれにあたります。順調に減らしてきたかと思ったら、2016年度からまた年々の返済額が増え始めていますね。地域交流センターや道路などの建設で大きな借金をしていますから、返済はこれから本番。上の表でも、

実質公債費比率というものさし

過去の借金が積み重なった額を「地方債現在高」といいます。詳しくは次の号でこの累積した借金について触れますが、毎年返すお金がどの程度の比率になっているのかを示すのが「実質公債費比率」というものさしです。

18%を超えるといエロカードと言われるこの数値は財政規模に比べてどれだけの借金があるのかを示す数値です。池田町は現在はまだ一けたですが、町の試算では数年後には13%を超えてしまいま

池田町の毎年の借金返済額 (公債費) と 実質公債費比率



す。町は、それでも財政上は問題がないと言いつ張つていますが、本当にそうなのでしようか。返済額が多くなれば他の予算を圧迫することは当たり前ではないでしょうか。

借金がふくらんだ理由

交流センター建設などのために、当初予定していた事業費は13・5億円でした。それが、事業が終わってみれば20・4億円に。

実に1・5倍に膨れ上がったのです。いつの間にかと思うかもしれませんが、その都度増額を議会などに示して了解を得たというでしょうが、これは当初の検討委員会などでの議論から大きく外れて、言い訳もできないものです。このようなやり方を繰り返さないことが健全財政の「初歩の初歩」です。